backlog 導入事例集

脱エクセル・脱メールで業務効率UP編







エクセルメメールで行うタスク管理の課題を

Dacklog で解決!



バックログ導入前

課題

転送や返信を繰り返し、

情報が混乱

1つのメールの中で複数の議論が飛び交い、後から情報を探すのも手間

課題

タスク管理表を別々に更新し、

最新版がわからなくなる

最新版の確認をするために、結局電話やメールでの確認作業が発生

課題

メールのやりとりは基本1対1、 タスク管理表の更新が滞ると進捗が見えない リアルタイムの情報共有ができず、メンバー間に情報格差が発生。

| バックログ導入後 |

効果

タスクごとの会話とファイルで

探す時間も短縮!

タスクの情報 / 会話 / ファイルをあちこち探す必要がありません。

効果

担当者が各々のタスクを更新することで

常に最新情報にアクセス可能

チャートでのスケジュール確認や担当者ごとのタスクが確認できます。

効果

複数コミュニケーションが基本

情報共有がスムーズに

誰でも最新情報にアクセスできるので不要な進捗報告が不要です。

キリンホールディングス株式会社

メールからExcelに転記する手間が激減。 複数プロジェクトの可視化に成功!

キリンホールディングス株式会社の情報戦略部DXP(デジタルエクスペリエンスプラットフォーム)チームはBacklog導入で複雑化するタスク管理 を改善することに成功。ガントチャート、バーンダウンチャートを活用して進捗状況の可視化を実現しました。



Backlog 導入後

情報共有・ コミュニケーション

- 各所からのメールの依頼が膨大で対応 が必要なタスクが埋もれる
- ■対応履歴、必要な情報を探るのに時間が かかる



易に

■ 必要な情報、履歴が見やすく、簡単に 追えるようになった

■膨大な情報が整理され、タスク管理が容

タスク管理

- メールからエクセルへの転記の手間がか かる
- どれだけ注意しても記入漏れが発生
- >
- 記入漏れ等のリスクがなくなり運用の質が 向上

■ 依頼がBacklogで来るようになったので

転記の手間がかからない



業 種:飲料メーカー

利用部門:情報戦略部DXPチーム

キリンホールディングス株式会社は、ビールメーカーのキリンビール、清涼飲料水メーカーのキリンビバレッジなどを傘下を持つ企業。キリングループは、食から医にわたる領域で価値を創造し、社会課題に取り組むことで、こころ豊かな社会とお客様の幸せな未来に貢献している。

よろこびがつなぐ世界へ









66 複雑化していたタスク管理が Backlog導入で改善されました

"

—— Backlog導入前に抱えていた課題を教え ていただけますか。

タスク管理の複雑化ですね。というのも、Backlog導入前は複数プロジェクトに関する情報が全て"メール文化"で動いていました。メールで作業依頼が送られてきて、その情報をエクセルに入力して、タスク管理を行なっていました。

しかし、依頼量自体も膨大で、どれだけ注意していても 記入漏れなどが発生し、案件を進めるのに支障が出ていま した。

--- Backlogを導入して状況は改善しましたか?

劇的に改善されました。Backlogは案件ごとにプロジェクトを作ることができるので、膨大な情報を整理しやすく効率よく探せます。

Backlogに切り替えたことで、膨大なメールに埋もれていた情報と履歴を簡単に追えるようになったので、メールの情報からエクセルに転記する手間と記入漏れが激減しました。

――― その際に何か工夫されていることなどあり

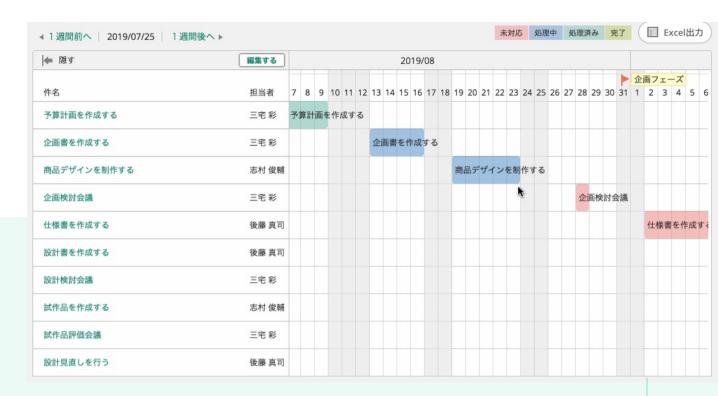
ますか?

Backlog運用の工夫としては、あえて利用する機能を絞り込んでいます。Backlogはプロジェクトに対して細やかな情報、つまり件名、本文、担当者なども入力できますし、さらにはマイルストーンの設定も可能です。確かにそれらの機能は便利なのですが、入力漏れが発生しないとも限らない。また、管理側も管理しにくい側面が出てくる可能性もあるため、シンプルな運用を心がけています。

Backlogは使い方を学ぶ必要がないほど直感的に使えるので、 メールからBacklogへの移行もスムーズに行うことができま した。

――― チームでの活用方法を詳しく教えていただけますか?

一番多いのはプロジェクトやタスク管理ツールとしての活用ですが、インシデント管理ツールとしても重宝しています。例えばDXPチームのシステムサービスの領域では、トラブルが発生した現象や相談ごとなど、対応の進捗状況を全てBacklogの課題として作成、リーダーの承認、解決までを課題上で管理しています。





プロジェクトの進捗を把握する時に使 えるのがガントチャート。各課題の始 まりから完了までの流れをひと目で把 握できる

社外とのやりとりにもご活用されているとか?

Backlogはカスタマイズしなくてもすぐに利用できるので、各事業会社においても導入ハードルが低く、導入後スムーズに利用開始することができます。

プロジェクトの新規課題は、各事業会社から利用申請(プロジェクトの新規追加)をもらい、プロジェクトを追加しています。すでに Backlog利用歴が長い事業会社も多いので、Backlogのカスタム属性 は各事業会社、関連部署にあったカスタマイズもしてもらっています。 カスタマイズが簡単に行える点もポイントが高いですね。

株式会社JIMOS

外部ベンダーとの情報共有をスムーズに その後タスク管理ツールとして全社的に活用

福岡県に本社を置く、スキンケア・コスメ商品販売会社の株式会社JIMOS。2017年より情報システム部内で導入したのをきっかけに、タスク管理や社 内外のコミュニケーションにおいて全社的にBacklogを活用いただいています。



Backlog 導入後

情報共有・ コミュニケーション ■ 外部ベンダーとの情報共有をメールと 定例会議で行っていたため、確認作業 に時間がかかっていた



数が削減され。プロジェクト期間を2/3 に短縮

■ 社内外におけるコミュニケーションのエ

■ 業務のナレッジがBacklogに蓄積される ことで、新入社員も即戦力に

タスク管理

- エクセルのタスク管理では、都度のメン テナンスが手間で更新が滞ってしまった
- タスクオーナーの可視化がしづらく、抜 け漏れが多かった



- 誰が何に着手しているかが明確になった
- コールセンター部門では、商品に関する 重要なお知らせやよくある質問などを Backlogに集約。高額なFAQ専用ツール が不要に



業 種:化粧品メーカー

利用部門:全社で利用

1998年創業のスキンケア・コスメ商品販売会社。オリジナルのエイジングケアブランド「マキアレイベル」や高機能自然派エイジングケア「Coyori」のほか、九州のプレミアム焼酎や健康食品をダイレクトマーケティングで展開する。









66 最大の効果は社内外における

コミュニケーションの工数が減ったことです。



社内外のやり取りやタスク管理における、業務効率改善 の必要性を感じていました。情報システム部の業務は、シ ステムベンダーなど外部パートナー企業とのやり取りが多 いのが特徴です。

当時は、タスクに関するやり取りは、ToDoリストを記 載したエクセルファイルをメールで受け渡ししていました。 さらに週次の定例会を開催してタスクの進捗状況やスケ ジュールの確認を行っていたんです。

しかしエクセルだと、都度のメンテナンスが手間で更新 が滞ってしまったり、ToDoのタスクオーナーの可視化が しづらかったりといった問題がたびたび発生していました。 タスクの抜け漏れも多いことから、オンライン上で更新と 共有が簡単にできるツールを探していたんです。

·Backlogを導入してどんな効果がありました か?

社内外におけるコミュニケーションの工数が減ったのが 最大の成果です。オンライン上ですぐに確認のやり取りが

できるので、毎週開催していた定例会が不要になりましたべ ンダー企業に確認したい事項を、翌週の定例会まで持ち越す タイムロスも解消されたので助かりましたね。

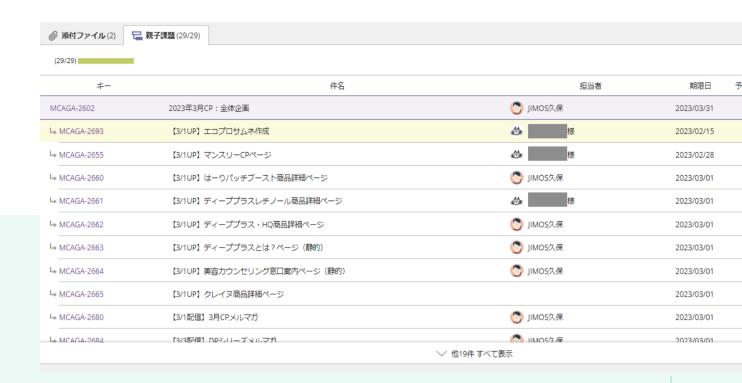
ミーティングとコミュニケーションの工数が削減されたお かげで、6ヶ月間の想定だったとあるプロジェクトの期間が 4ヶ月に短縮されたのは驚きでした。コミュニケーションや タスクの進捗管理にツールを活用することで、これほどまで に効率化が図れるのだと実感しましたね。

他部門での効果はいかがですか?

既存のお客様へご案内するDMやウェブサイトの企画・制 作を行うリピートチームでは、担当者とタスク完了までのエ 程が可視化されたことで、チーム内の誰もが進捗をすぐに確 認できるようになりました。

またBacklogでは、「去年の同時期にはどのように動いて いたか」がすぐ検索できるので、当時のやり取りを参考にし ながら仕事を進められるんです。社内のナレッジ共有や育成 においても、大いに役立っています。

コールセンターでは、「商品に関する重要なお知らせ」や





毎月送られるDMは、制作物ごとにタ スクを分けて子課題で管理。親課題に 紐づけることでタスクの関連性も可視 化できる。

「よくある質問(FAO)」など、お客様との応対上で必要な情報を共 有するインフラツールとして活用することで、月額数十万円のFAO専 用ツールが不要になったという効果もありました、

Backlogは、もはやJIMOS全社に欠かせないインフラです。これ からも社内の業務効率化に努め、ツールをうまく活用していきたいと 思います。



ダイヤ工業株式会社

エクセルによるタスク管理からの移行で属人化を解消 担当者不在でも柔軟な連携が可能に

創業60年の医療用品メーカーであるダイヤ工業。研究開発、設計、製造、販売まで自社で一貫して行っています。そんな同社では、DXに向けた取り組 みを行う上でプロジェクト・タスク管理ツールとしてBacklogを導入しました。



Backlog 導入後

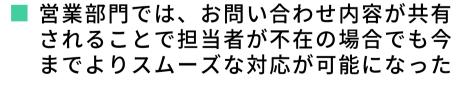
情報共有・ コミュニケーション ■ エクセルで管理されるタスクは進捗状況が見えにくく、チーム間のみならず プロジェクト内でも連携が取りにくかった



■ Backlogをプラットフォームとすること で部門やチームを越えた連携がしやすく なり、プロジェクトの動きが円滑に



- プロジェクトから派生したタスクの管理 が個人に任されていたため、業務が属人 化
- チーム全体のタスクを見通して優先度を つける仕組みがなかった



■ Backlogが共通のツールになり、個人で 管理していたエクセルなどのタスク管理 表を探す手間が削減



業 種:製造・メーカー

利用部門:全社で利用

創業60年の医療用品メーカーであるダイヤ 工業は研究開発、設計、製造、販売まで自 社で一貫して行っている。同社が目指すの は「健康」の提供ではなく、「健康だから 〇できる」という健康のその先にある楽 しみを提供すること。







66 部門を横断するプロジェクトやテレワーク下で Backlogのメリットを強く感じました

Backlog導入前に抱えていた課題を教え ていただけますか。

プロジェクトの進捗管理は、エクセルで行っていました。 担当者やプロジェクトチームごとにフォーマットが異なっ ていたため、フォーマットに慣れるまで時間がかかったり、 それぞれ自分のタスクしか認識していない状況も起こり得 る状態でした。

エクセルなどの場合、管理する煩雑さから一部の人しか 使わなくなってしまい、結果として全体のタスクの見える 化が出来ないままになっていた事もありました。

営業部門ではお客さまと1対1のコミュニケーションを取 りながら業務を進めていきます。そのため各自のタスクが どういったもので「何が」「どこまで」「どのように」進 んでいるのか、といったことが他のメンバーにはわかりに くい状況にありました。

·Backlogを導入して状況は変化しましたか?

全社共通で言えることは、タスクの「見える化」ができ るようになったことです。担当者に聞かないとわからない 状況から、Backlogを見れば誰でもわかる状態に変化しま

した。Backlogでは担当者や更新履歴が自動的に記録されま すし、優先度に応じたタスクがひと目でわかるので、対応す るスピードも向上しました。 Backlogに登録したタスクを完 了にすると目に見えてタスクが減っていくので、前進してい ると実感を持てることも良いと思います。Backlogをプラッ トフォームとすることで、プロジェクト全体の動きが良くな りました。

営業部門での効果はいかがですか?

営業部門では、Backlogを活用してお客さまからのお問い 合わせやお約束事を一覧化しています。チーム全員がすべて のお問い合わせの進捗を見に行ける仕組みを構築できたので、 業務の割り振りもスムーズになりました。タスクの属人化が 解消され、担当者以外でも、優先度を見極めながら適切な対 応が今までよりも容易になりました。

Backlog導入の決め手を教えてください。

直感的な操作性、手厚いサポート体制、Wiki機能の3つで す。特にWiki機能は長期間に及ぶプロジェクトを進める上で 必須でした。プロジェクトの目的やメンバーの役割を記載し、 共通認識を図るために活用しています。





長期間に及ぶプロジェクトを進めると きに、プロジェクトの目的やメンバー の役割をWikiに記載しておくと共通認 識を作りやすい

活用によるメリットはどう言った点になるとお 考えですか?

Backlogは汎用性が高く、かつどのような業務にも活用できる柔軟 性があります。その中でもとくに当社では、部門を横断するプロジェ クトや、テレワークのメンバーがいる部署でBacklogのメリットをよ り強く感じました。たとえば、部門長の週次報告用のプロジェクトを 作成し、全部門の進捗確認を行っています。Backlogを活用すること で、部門ごとの状況が明確になり、会議を行う際も事前情報がわかっ ているのでスムーズに進行していくように思います。

株式会社アダル

無駄なメールリレーはゼロ! 老舗業務用家具メーカーのデジタイゼーション

Backlogを社内のシステム基盤とした株式会社アダル。1日20件は発生していたメールリレーをゼロに、アナログ業務のデジタル化・部署間コラボレー ションが加速しました。海外販路拡大のための新規ブランド立ち上げにおける部署間連携のワークフロー構築にも Backlogを活用しています。

Backlog 導入前

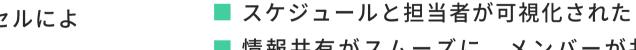
Backlog 導入後

情報共有• コミュニケーション

タスク管理

- 電話でのタスク共有による認識齟齬の 発生
- 修正更新のためのコミュニケーション、 多い時で1日20件のメールリレーなど、 情報共有がスムーズでない
- 内容変更・期限の調整などエクセルによ る情報更新に手間がかかる
- ■メールにおける読み忘れ、過去の履歴を 検索する手間

- コミュニケーションミスが大幅減
- 度重なる確認が減り、定例会議は導入 前の 25%



■情報共有がスムーズに。メンバーが共 通認識をもてる



種:業務用家具メーカー 利用部門:IT 事業室、経営企画室、

企画開発室、営業本部

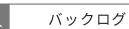
(広報 / PR、アートディレクター、

プロダクト制作、セールス)

1953 年に創業された福岡発の業務用家具 メーカー。国内には15拠点、海外では中国に 提携会社として生産工場をもっており、福岡 にも総合工場があります。社員数288名で、 そのうち120名が工場勤務、120名が営業、 40 名がプランニン グ・経営企 画・管理部と なっている

はたらく家具をつくる







66 部署間の業務遂行やチーム連携が とてもうまくいくようになりました

—— Backlog導入前に抱えていた課題を教え ていただけますか。

業務に関する情報を一元管理し、情報に素早くアクセス できるツールがなかったため、タスクの重複、遅延、 自然 消滅が多発していました。

また、エクセルで作成した工程表の修正対応や進捗管理にともなうコミュニケーションに半日かかることもあり、データ管理に時間を費やさざるを得ない状況を改善したいと考えていました。

Backlog導入前は業務コミュニケーションにメールを使っていましたが、1日に20件もメールで修正依頼をしたり、複数のエクセルデータを送付したりすることが日常茶飯事でした。

— Backlogを導入して状況は変化しましたか?

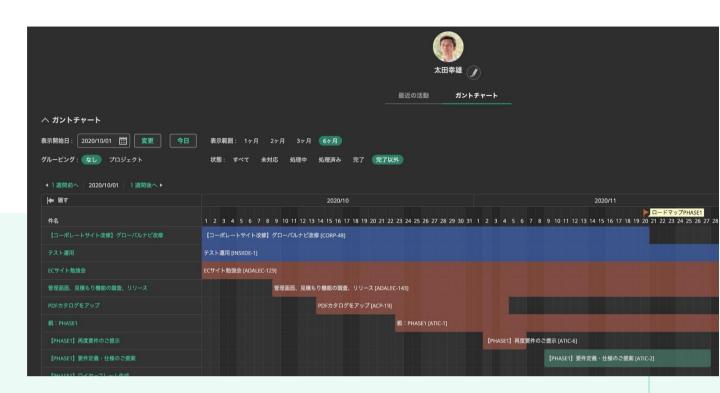
Backlogを導入し、仕事やタスクベースでコミュニケーションを進めることになったので、メールのように情報が散在するということはなくなりました。

また、仕事やタスクベースでコミュニケーションを進めることになったので、メールのように情報が散在するということはなくなりました。対応すべきタスクを明確に可視化できるようになったので、作業状況が見えないことからくる"心理的なあせり"はなくなりましたね。

情報共有についても、メールだと確認しない人が一定数発生してしまい、実際に確認してくれたのかどうかがわからないという問題がありました。Backlogには通知機能があって、相手が内容を確認した場合アイコンにチェックが入るので、「情報が伝わっていることがわかる」という安心感があります。

Backlog を導入して起きた業務マネジメントの効果について教えてください。

タスクの優先順位を明確にできるようになり、経営層から タスクを依頼されたときに、自分のタスクの逼迫状況やプロ ジェクトの進捗を建設的に説明できるようになりました。 BacklogのガントチャートをアダルのECサイトの構築プロ ジェクトで活用しているのですが、社内のマネージャー陣か ら「各人の業務対応状況が可視化されて、何に詰まっている のかわかりやすくなった」という声もあがってきています。





経営企画部IT事業室の太田幸雄さんの 1ヵ月間のタスク状況を一見できる ガントチャート。Backlogは個人の業務 対応状況をタイムラインで確認できる

Backlogを導入したことで会議の進め方などに 変化はありましたか?

Backlogを導入したことで進捗確認のための定例会議を大幅に効率 化できました。 福岡と東京にいるチームメンバーと代表も含めた5人 で週に1回オンラインで定例会議をしているのですが、Backlogの課 題一覧画面を表示して、各人の作業の進捗を確認をしています。

遅延している場合はBacklogの課題のコメントを追ってなにがボトルネックになっているのか建設的に議論をして、その場で期限を伸ばすなど、以前より迅速に対応できています。



オンラインセミナー・トライアルのご案内

本資料をご覧いただき、メールや電話などのコミュニケーション課題を解決したいと考えた方は 是非、Backlog の無料オンラインセミナーや無料トライアルをご利用ください



オンラインセミナーの概要

- ☑ プロジェクト・タスク管理のBacklogとは?
- ☑ Backlog導入でどんなメリットがあるの?
- ☑ 実際のBacklog画面を見ながら利用シーンを紹介

開催スケジュールはこちら



トライアルの概要

- ☑ 30日間無料で利用できる
- ☑ フォームに情報を入力すると、すぐに開始
- ☑ プランの全機能が使える

無料トライアルはこちら

サービスページはこちら

会社概要

設立2004年3月事業内容プロジェクト管理ツール『Backlog』の開発・運用
ビジュアルコラボレーションツール『Cacoo』の開発・運用
ヌーラボ製品のセキュリティ&ガバナンスを強化する『Nulab Pass』の開発・運用本社福岡県福岡市中央区大名一丁目8番6号

国内拠点 東京事務所、京都事務所

社名

海外子会社 Nulab, Inc. (ニューヨーク) Nulab, B.V. (アムステルダム)

株式会社ヌーラボ